



校長便り 第8号

水泳授業おわりました



1学期 子どもたちの振り返りより

全校児童対象に、1学期を振り返るアンケートを、児童用タブレットで実施しました。主な質問項目の肯定的回答（「そう思う」「少しそう思う」）の割合は、以下のとおりでした。 【 】内は、昨年度同期比

- ①学校生活は楽しいですか：92.5%【+3.6%】
- ②隅々まで掃除ができていますか：96.2%【-0.6%】
- ③チャイム席が守れていますか：86.8%【-0.5%】
- ④気持ちのよい挨拶や返事ができていますか：94.3%【+8.6%】
- ⑤早寝早起きするように気を付けていますか：90.6%【+6.5%】
- ⑥好き嫌いせずに食べていますか：81.1%【+6.5%】
- ⑦運動やスポーツをすることが好きですか：92.5%【+5.2%】
- ⑧ケガをしないよう安全に気を付けて生活をしていますか：94.3%【-4.1%】

- ⑨友達や下級生を大切にしていますか：98.1%【+10.8%】

若干下がっている項目もありますが、昨年同期よりかなりよくなっている項目が多いです。安全に気をつけながら基本的な生活習慣は安定しているように思います。1学期については、子どもどうしの大きなトラブルや学級崩壊等は発生していません。

①「学校生活が楽しい」の項目は、目標値の9割を超えました。しかしながら、「楽しくない」と思っている子どもの思いを受けとめ、子どもに寄り添う支援をしていく必要があります。⑨「友達や下級生を大切にしている」の項目は、100%近い達成率です。縦割り班活動や掃除の場面でも、そんな子どもたちの姿が感じられます。

- ⑩授業で学んだことが分かりますか：94.3%【+3.8%】
- ⑪授業中はよく考え、自分の意見を進んで発表できていますか：83.0%【+8.4%】
- ⑫タブレットを使って学んだり、調べたり、まとめたりすることができていますか：92.5%【+4.2%】
- ⑬先生に、分からないことや困ったことを相談できますか：94.3%【+16.6%】
- ⑭先生は分かりやすい授業をしてくれていますか：100%【+11.1%】

学習面を見ても、子どもたちの安定と成長がよく分かります。全項目昨年同期よりも向上してきています。特に、注目すべきは、⑬と⑭の項目です。昨年同期よりも大幅アップです。⑬については、先生に相談しづらい子どももいますので、何かありましたら早めに各担任（学校）まで、連絡をお願いします。

⑭についても、大変驚いています。もう一度集計結果を確認しましたが、83%の子どもが強肯定でした。子どもたちの先生への信頼に応えられるよう、慢心にならず、謙虚に教材研究や授業研究に努めてまいります。

授業中の子どもたちの様子を見ても、授業に向かう態度や姿勢がよくなっていると感じています。2学期以降も、少人数指導や複式授業に向けて、「自ら課題をもって進んで学ぶ子ども」に成長できるよう地道に取り組んでまいります。

不祥事根絶の校内ルールについて

教師が児童生徒等を盗撮し、画像などを SNS 上の教師間のグループで共有し逮捕された事案や、本県でも小学校教員が盗撮により逮捕される事案が発生しています。こうしたことにより教師への信頼が損なわれるような状況が生じています。教師による児童生徒性暴力等の事案が発生していることは言語道断であり、決してあってはなりません。そこで、本校では、授業や活動中の写真撮影は、学校のデジカメのみを使用することや、保存場所を決めるなどの対応をし、原則児童の写真は外に持ち出さないよう徹底します。

保護者の皆様におかれましても、学校行事等でお子さんの写真を撮影することもあるかと思いますが、他のお子さんの写真や動画を Web や SNS で拡散することがないように十分注意をお願いします。（勿論、自分のお子さんについても十分注意が必要です）

裏面に、本校で確認した「不祥事根絶のための校内ルール」を載せています。保護者や地域と共にある「安心・安全な学校づくり」のために、これまでどおり温かいご支援ご協力をよろしくお願いします。

令和7年度 不祥事根絶のための校内ルール

安芸市立川北小学校

<不祥事を根絶し、児童・保護者・地域に信頼される学校づくり>

私たち川北小学校の教職員は、学校教育に携わる者として、常に法令を遵守し、児童に携わる者として言動に責任をもち、教育活動に専念しています。

しかしながら、県内教職員による不祥事が発生するたびに、本県や本市の教育や、教育公務員に対する信頼が損なわれています。こんな折ですが、本校に勤務するすべての教職員は、お互いを信頼し合い、教育に取り組む集団でありたいと切望しています。

そこで、校内ルールを文章化し、全ての教職員が共通の認識をもって行動し、本校から不祥事が発生しないことに努めることを確認しました。

以下のルールは、未来から託された宝である子どもたち、学校、そして教職員自身を守るための最低限必須のルールです。

- 一つ、大切な子どもたちの命や尊厳を守ることを第一に考えて職務にあたる。
- 一つ、不祥事は他人事ではなく、いつでも、どこでも、誰にでも起こり得るものとして捉え、当事者意識・危機意識をもつ。
- 一つ、子どもへの生徒指導等の対応には、複数名で対応し、原則として1対1の状況は作らない。やむを得ず1対1で対応する折には、どこで、誰と、何を話すのか事前に管理職に伝える。
- 一つ、子どもの身体に、安全確保等社会通念上認められるもの以外接触しない。
- 一つ、子どもや保護者と、電話、メール、SNSなどによる私的なやり取りはしない。
やむを得ず、やり取りをする場合は、複数の目が入るようにする。
- 一つ、子どもを引率中（修学旅行等）に飲酒はしない。
- 一つ、個人情報を含む文書等は、校外へ持ち出さない。校内では鍵のかかる所定の場所
で一元管理し、複製はしない。
- 一つ、交通法規を遵守し、交通違反の無い安全運転を心掛ける。日常的に余裕をもった
行動を心掛け、交通事故防止に努める。
- 一つ、飲酒する場合は車や自転車を運転しない。運転する人に飲酒を勧めない。バスな
どの公共交通の利用やハンドルキーパーの確保などを実行し、飲酒運転を絶対にし
ない。
- 一つ、公金など職務上お金を扱う場合は、複数の職員のチェックや管理職が点検する
など、透明性をもって適正に管理し取り扱う。